

12 / 3 (水) の行事

報道発表資料の配付日時 11月12日(水) 10時00分

発表項目 (行事名)		「農たび・北海道ネットワーク研修会」の開催について	
記者レクチャー のお知らせ	(実施日時)	発表者	
		発表場所	
概要	要	道では、農山漁村の豊かな自然や食、歴史・文化などの地域資源を活用した滞在型観光として、地域ぐるみで旅行客を受け入れる農泊などの農村ツーリズム（愛称：農たび・北海道）の推進を図るため、この度、「農たび・北海道ネットワーク研修会」を開催しますので、お知らせします。 記 1 日 時：令和7年（2025年）12月3日（水）13：30～16：30（13:00開場） 2 場 所：TKP札幌ビジネスセンター赤れんが前 ホール5G （札幌市中央区北4条西6丁目1番地 毎日札幌会館5階） 3 対 象：農泊などの農村ツーリズムに関心のある団体・個人、実践者等 4 開催方法：会場参加（対面形式）＋オンライン参加（ZOOM形式） 5 プログラム（予定）： (1)基調講演 ・「非日常体験」ではなく「異日常体験」が価値を作る ～秋田県のインバウンドベンチャーの失敗と挑戦～ 【講演者 株式会社 遊名人 代表取締役社長 東風平 詩人 氏】 (2)道内インバウンド先進地事例紹介 ・何もないと言われた農村に世界中から地域人口を大きく超える宿泊客を生み出す！～農業・農村・地方のポテンシャルを最大限引き出す脱サラ新規就農者の取り組み～ 【紹介者 農家民宿 えづらファーム 江面 暁人 氏】 (3)情報提供 ・農泊をめぐる状況・農泊推進に活用できる交付金概要 (4)「農たび・北海道」をテーマとしたPR企画（大学生考案・発表） 協力 札幌大谷大学 6 申込方法及び申込期限： ・チラシ記載の「URL」や「2次元コード」にアクセス、又は、FAXで申込み願います【申込期限：11月27日（木）】。	
参 考		・詳細は、別添チラシをご参照ください。	
報道（取材） に当たって のお願い		・取材については、事前に下記連絡先までご連絡ください。	
他のクラブ との関係		同時配付 同時レク	(場所)
担 当 (連絡先)		農政部農村振興局農村設計課農村活性化係(担当者:伊原、西村) TEL(直通) 011-206-6490 公用スマホ 011-585-6101 (内線)59975	

農たび・北海道ネットワーク研修会

参加費
無料

～ 旅行者から選ばれ続ける地域になるための、今後の取組のヒントがつかめる～



日 時

令和7年12月3日（水）13:30～16:30（13:00開場）

会 場

ＴＫＰ札幌ビジネスセンター赤れんが前 ホール５Ｇ
（札幌市中央区北４条西６丁目１番地 毎日札幌会館５階）

目 的

各地域の取組を共有し、情報交換による地域の連携強化を図るとともに、地域資源を活かした企画、運営、情報発信等の手法を学ぶことにより、農泊などの農村ツーリズム（愛称：農たび・北海道）の取組を推進することを目的として「農たび・北海道ネットワーク研修会」を開催します。



都会には体験できない時間がある
～「農たび・北海道」～

参加対象

農泊などの農村ツーリズムに関心のある団体・個人、実践者、農林漁業者、市町村、観光協会、商工会議所、商工会、農業協同組合、漁業協同組合、森林組合、土地改良区、関係団体・機関、一般聴講者等

開催方法

会場参加（対面形式）＋ オンライン参加（ZOOM形式）

プログラム（予定）

参加申込方法は
裏面をご覧ください

1 開会・挨拶

2 基調講演



「非日常体験」ではなく「異日常体験」が価値を作る
～秋田県のインバウンドベンチャーの失敗と挑戦～

【講演者 株式会社 遊名人 代表取締役社長 東風平 詩人 氏】

3 道内インバウンド先進地事例紹介

何もないと言われた農村に世界中から地域人口を大きく超える宿泊客を生み出す！
～農業・農村・地方のポテンシャルを最大限引き出す脱サラ新規就農者の取組～

【紹介者 農家民宿 えづらファーム 江面 暁人 氏】



4 情報提供

農泊をめぐる状況・農泊推進に活用できる交付金概要（説明者：農林水産省）

5 「農たび・北海道」をテーマとしたPR企画（大学生考案・発表）

協力 札幌大谷大学

6 閉会



主催 北海道農政部農村振興局農村設計課（電話 011-206-6490）

- 申込期限: 令和7年11月27日(木)まで
- 申込方法: 次の ~ のいずれかの方法でお申込みください



URLにアクセスして申込み → <https://www.harp.lg.jp/dUZBeEXS>



2次元コードにアクセスして申込み



FAXでの申込みは、次の各欄に記載しFAX願います

FAXでの参加申込み記入用紙 (FAX申込先: 011-232-0027)

参加者氏名		電話番号	
参加方法(丸印記載)	会場参加・オンライン参加	勤務先市町村名	
オンライン参加者はメールアドレス記載		職業・お勤め先を記載	



オンライン(ZOOM)参加の申込みの方には、記載された登録のメールアドレスへ、セミナー当日のアクセス先URL等を、12月2日(火)迄に主催者側からメールにてお送りします

基調講演・事例の紹介(旅行客から選ばれ続けるための今後の取組のヒントに！💡)

< 基調講演 > 「株式会社 遊名人」の取組紹介

株式会社遊名人は、秋田県仙北市を拠点に『農泊』を軸とした地域観光の活性化に取り組んでおり、農家民宿や体験型コンテンツを通じて、地域の暮らしと文化を深く味わえる滞在を提供しています。

代表の東風平新人民氏は、仙北市の地域おこし協力隊としてグリーン・ツーリズムの推進に携わった経験を活かし、株式会社遊名人を設立。農泊事業を前任者から引き継ぎ、「茅葺きの曲がり家 西の家」などを運営し、地元の食材を使った料理や農作業体験、地域住民との交流を通じて、訪問者が地域の魅力を五感で体感できる場を提供しています。

また、秋田県主催の「農泊ビジネス企業実践研修」では、先進事例として同社の取り組みが紹介され、代表自らが講師として登壇。農泊による企業を目指す参加者に対し、実践的なノウハウや地域との関係構築の重要性を伝えています。

遊名人の農泊は、単なる宿泊にとどまらず、『遊ぶ・泊まる・働く』の三軸を融合させた体験型観光を展開。地域資源を活かした持続可能な観光モデルとして、国内外からの観光客に指示されており、地方創生の一翼を担う存在となっています。



< 先進地事例 > 「農家民宿 えづらファーム」の取組紹介

えづらファームは、北海道遠軽町白滝地区で「人が集まる農場」を目指し、農業を軸に地域活性化を図る多彩な取り組みを展開しています。代表の江面夫妻が東京から移住し、2012年に設立。約57ヘクタールの農地で馬鈴薯や甜菜、小麦などを栽培するほか、農業体験や住み込みボランティアの受け入れを通じて、都市と農村の交流を促進しています。

また、農家民宿やレストラン「TORETATTE」を運営し、地元食材を活かした料理を提供。農業の魅力を五感で味わえる場として、世界中から年間数千名が訪れる地域の交流拠点となっています。さらに、小麦細工「ヒンメリ」の制作・販売や、企業研修の受け入れなど、農業の枠を超えた事業にも挑戦。地域資源を活かした持続可能なモデルを構築しています。

えづらファームは、農業を通じて人と人、人と地域をつなぎ、地方に新たな価値を生み出す実践的な場として注目されています。

